

出張報告書

外国語学部英米学科

寺田真一郎

2023年3月31日

表記について、下記の通りご報告します。

記

1. 期間 : 2022年10月～2023年3月
2. 出張先 : Center for Japanese Studies, University of California, Berkeley
3. 用務内容 : 米国において「人工知能 (AI) に関する政策及びビジネスの日米比較」を行う。
4. 成果 : 次の通り研究を行うとともに、セミナー、研究会への参加及び発表を行なった。
  - 1) 研究
    - ・ カリフォルニア大学のライブラリー (図書館、オンライン) を活用し、研究課題の状況を把握した。
    - ・ UC Berkeley 内の客員研究員との間で研究についての意見交換を日常的に行なった。(Center for Japanese studies、Institute of East Asian Studies など)
    - ・ UC Berkeley に所属する研究者との情報交換を行った。(Haas School of Business の Jon Metzler 講師など)
    - ・ UC Berkeley を訪れる日本研究の専門家と意見交換を行う機会を得た。(University of Georgia の Timothy Yang 准教授など)
  - 2) UC Berkeley 内外の各種セミナーへの参加
    - ・ UC Berkeley 内の School of information, Center for long-term cyber security 等によるインターネット関係セミナーに複数参加した。内容は、misinformation、DAO など。
    - ・ 上記の他、米国大学および研究機関の各種オンラインセミナーに複数参加した。内容は、AI、情報通信政策、独占禁止法制など。
  - 3) 研究会への参加
    - ・ 時期 : 2023年2月5日、6日
    - ・ 場所 : Silicon Flatirons, Colorado Law School, University of Colorado, Boulder
    - ・ 内容 : テーマは「Internet Midlife Crisis」であり、米国内外の情報通信政策について議論を行なった。
    - ・ その他 :  
学会に伴うランチ、ブレイク、パーティー等で、情報通信について米国を代表する専門家たちと意見交換を行なう機会を得た。(元 FCC 委員長 Tom Wheeler 氏、ペンシルベニア大学法科大学院 Christopher Yo 教授、ほか多数。)
  - 4) 研究会での発表

- ・ 時期：2023年3月8日
- ・ 場所：Center for Japanese Studies, University of California, Berkeley
- ・ 内容：Annual Conference として、日本人研究者、実務者が研究成果を発表した。
- ・ 成果：寺田は、生成系 AI に関する研究成果を発表した。

5) 今後

- ・ 研究会で発表した内容をさらに整理し、適宜、国内外学会での発表を検討する。

5. 研究課題との関連性：

今回の長期研修により、当初設定した研究課題を整理し、発展させることができたと考えている。

以上